

野球U18W杯

ヘッドコーチに 光星の仲井監督

日本高野連は20日、大阪市内で理事会を開き、今夏に韓国で行われる18歳以下のU18ワールドカップ(W杯)に出場する高校日本代表ヘッドコーチに八戸学院光星の仲井宗基監督を選任した。コーチは北海(北海道)の平川敦監督、作新学

院(栃木)の小針崇宏監督に決まった。監督は報徳学園(兵庫)で指揮を執った永田裕治氏に既に決まっている。

W杯に向け、国際大会対策の合宿を4月に実施することも決定。2018年度の秋季大会などで選考された最大約40選手が参加し、木製バットへの対応や国際試合の戦い方について研修を行う。